

国際交流行事予定

- 4月 ◆ フランスIUTインターンシップの受入
(4/4~6月末まで、3名)
- 5月 ◆ 香港IVE短期留学受入 (5/21-22、10日間、21名)
◆ 小山高専外国人留学生交流会
- 6月 ◆ 海外短期留学IVE (JASSO支援) 募集
◆ 栃木県外国人留学生交流会
- 7月 ◆ 留学生・国際交流担当者研修会
◆ JSTS2016 (筑波研修センター)
- 8月 ◆ 海外短期留学in香港IVE (10日間)
- 9月 ◆ 高専機構主催海外インターンシップ
◆ フランスIUTへ海外インターンシップ募集
- 10月 ◆ ISTS2016 (インドネシア・ガジャマ大学)
◆ 海外短期留学in香港IVE参加者報告会
◆ 関信越地区外国人留学生交流会
◆ トビタテ留学! JAPAN募集 (10月末まで)
- 11月 ◆ 語学研修 (2週間、アメリカ) 募集
- 12月 ◆ イングリッシュカフェ
- 1月 ◆ イングリッシュカフェ
◆ トビタテ! 留学JAPAN募集
- 2月 ◆ フランスIUTへ海外インターンシップ派遣
◆ 海外語学研修
- 3月 ◆ 外国人留学生研修旅行
◆ 高専機構主催海外インターンシップ
◆ 高専機構主催技術英語研修

学寮ニュース

新年度を迎えて

全寮長 機械工学科4年 森本 孝紀

4月3日(日)の開寮から青嵐寮は慌ただしい限りです。入寮したての一年生がまず取り組んだのが4月9日(土)の寮生ボランティアでした。ここ数年にわたり続いているこのボランティアでは高専周辺のゴミ拾いを行っています。貴重な地域貢献の場であったと思います。また、翌日の寮生ドッチボール大会、16日(土)のソフトボール大会と合わせて寮生間の親交を深める良い機会であったと思います。

寮は当然のことながら「共同生活」の場です。学校生活とは異なる日常を多くの人と共有する場所であり、生活をする上で必須なのは互いを知ることです。寮生間の親交を円滑に進めるため、前述した様々な行事も行っています。行事を行うにしても、担当の委員会と話し合ったり、先生方と相談したり、多くの人の協力が不可欠です。自分自身にもそれを言い聞かせ、さらに寮生活や行事を盛り上げていきたいと思いま



TOPICS

おすすめの図書レビュー

稲葉なおと『0マイル』

(小学館文庫い33-1、2011年)

一般科(国語) 講師 山崎 明

新進気鋭の写真家として注目を集めていた主人公吉川士朗は、海外での撮影中に日本で妻が倒れてから、長く家を空けることを避け、一線を退いて、所謂食うための仕事にのみ明け暮れていた。7年が経過したある日、旧知の編集長國崎から、米国フロリダの建築を巡る旅行記の執筆と撮影を依頼される。しかも國崎はその旅に士朗の7歳の息子連れて行けと言うのだった…。

本書はフロリダを舞台に、マイアミのサウスビーチから米国最南端キーウエストに到るまでの父と子のロードノベルである。旅の当初、士朗は仕事への集中を妨げ、時に計画の障害となる息子の存在を疎ましく思うが、ともに旅を続けて行く中で、次第に心を寄せて行く。

「0マイル」とはキーウエストにあるUS1(国道1号線)の始点である。読者は結末でこれが表題であることの本当の意味に気付かされ、読後には爽やかな余韻を味わうことになる。

巧みな筋立てや構成に驚かされるが、本書の魅力は別にある。それは対象の本質を掴むために、時に常識をも度外視した行動に出る士朗の取材姿勢である。過度な情熱は笑みを誘うが、最善を尽くす姿には感心せずにはいられない。著者の他の作品の読者ならば、そこに著者自身の仕事の流儀を垣間見るだろう。

著者は一級建築士で、士朗のように名建築を訪ねて、自ら撮影し文章を記す紀行作家である。「週刊新潮」で連載された作品は精選され、『名建築に泊まる』(新潮社、2002年)や『巨匠の宿』(同、2004年)として刊行されている。建築や建築家について丁寧な解説が添えられているので、その道の入門書としても読め、ユニークな文章と美しい写真は、建築MAPを片手に散策するような学生の心をも十分楽しませるはずだ。

なお、該書は2007年にUSENの会報誌に『Drive to the Hotel』と題して連載され、後に朗読放送されて、翌年に『ゼロ・マイル』と改題して刊行された。文庫化にあたって、更に改題・加筆されている。

一般食堂

平成28年4月から、企画公募を経て一般食堂・寮食堂を担当する業者が「(株)カンティース」に変更になりました。

定食の料金は400円で変更はありません。

